

印西市史編さん委員会 委員名簿

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

	氏 名	備 考
委 員	<small>なかざわ</small> 中澤 <small>けいこ</small> 恵子	識見を有する者
委 員	<small>かぶらき</small> 鏑木 <small>ゆきひろ</small> 行廣	識見を有する者
委 員	<small>きむら</small> 木村 <small>おきむ</small> 修	識見を有する者
委 員	<small>えのき</small> 榎 <small>みか</small> 美香	識見を有する者
委 員	<small>おおとも</small> 大友 <small>かずお</small> 一雄	識見を有する者
委 員	<small>いわい</small> 岩井 <small>かずたみ</small> 一民	識見を有する者
委 員	<small>いとう</small> 伊藤 <small>てつゆき</small> 哲之	識見を有する者
委 員	<small>たかはな</small> 高花 <small>ひろゆき</small> 宏行	識見を有する者

木下交流の杜歴史資料センター令和4年度事業計画

1 市史刊行事業

(1) 市史編さん委員会（年2回予定）

第1回 令和4年6月28日

第2回 令和5年3月頃（予定）

(2) 印西市史編さん専門委員専門部会等の開催

ア 編集会議の開催（年2回）

専門部会全体及び専門部会間調整。

イ 中世部会の活動予定

市内の城郭調査、板碑調査等を実施予定。

中世水域復元図の検討。

ウ 近世部会の活動予定

市内外所在古文書等の調査、研究及び筆耕を実施予定。

エ 近現代部会の活動予定

通史編4近現代の編集（資料9）。

古文書等の調査を実施予定。

(3) 市史の刊行

ア 市史研究誌『印西の歴史』第14号の刊行

5月1日広報いんざい・市HPで投稿原稿募集，5月31日募集〆切。

2 地域史料保存事業

(1) 古文書等史料の整理・保管

ア 古文書，新聞資料，地域資料等の収集（随時）

イ 収蔵史料整理作業の実施

木下・宝田家（第2次）ほか。

ウ 収蔵史料の保存

環境調査の実施，新規受入資料の燻蒸。

(2) 歴史公文書の引継・収集及び整理・保管

ア 文書廃棄（5～6月）に伴う歴史公文書等の選別・移管
目録の作成

イ 行政資料等の収集（随時）

ウ その他資料の受入，整理・保管（随時）

4 その他

(1) 関係団体への参加

千葉県史料保存活用連絡協議会

木下交流の杜歴史資料センター令和3年度事業報告

1 市史編さん事業

(1) 印西市史編さん委員会 (2回)

第1回 令和3年9月30日

令和3年度事業進捗状況について

印西市史編さん事業基本方針について

第二次刊行計画の修正について

その他 印西市史編さん委員会委嘱アンケートについて

第2回 令和4年3月25日

令和3年度事業報告について

令和4年度事業計画(案)について

その他

(2) 印西市史編さん専門委員専門部会等の開催

ア 編集会議の開催 専門部会全体及び専門部会間調整

第1回 令和3年8月27日

印西市史通史編4近現代の発刊について

印西市史通史編に係る市史編さん委員会での閲読について

第2回 令和4年3月18日

各専門部会作業進捗について

印西市史編さん事業基本方針について

イ 中世部会の活動 (4回)

城郭調査カードの作成、資料情報収集

ウ 近世部会の活動 (3回)

古文書調査等

エ 近現代部会の活動 (50回)

通史編4近現代の原稿執筆・市内外所在資料調査

(3) 市史の刊行

市史研究誌『印西の歴史』第13号

内 容 論 考 木村修「埴生西条・印西条・印西庄の成立と
変遷」

研究ノート 石瀬素子・酒井慎一・中村亮一・原田智也「安
政江戸地震の被害記述の科学的検証～印
西市・成田市・佐倉市での地震観測を通し

て～」

矢嶋毅之「民権家・鈴木政吉について」

村越博茂「宝田吉朗日誌」にみる明治初年代
の木下－木下街道を通行した鹿島香取両
神宮への奉幣使－」

資料紹介 佐々木克哉「明治期の博覧会資料にみる印西
地域の林業と「佐倉炭」」

頒布 無償頒布（市内小中学校，関係機関，協力者）

有償頒布（令和4年6月1日開始，500円）

2 地域史料保存事業

（1）古文書等史料の整理・保管

ア 古文書，新聞資料，地域資料等の収集

イ 収蔵史料の整理作業の実施

木下・宝田家文書（第2次）

整理 1600点

（2）歴史公文書の引継・収集及び整理・保管

ア 文書廃棄（5～6月）に伴う歴史公文書等の移管

140箱（文書保存箱換算）

イ その他行政資料 市行政資料 236件

3 普及・活用事業

（1）歴史資料センター展示事業

・開館日数 290日/年度

・来所者数 2833人

ア 展示事業

・常設展（年間）

・ミニ企画展

名 称：近代の資料からみる木下のまちなみ

（『印西市史 資料編 近現代1』刊行記念・木下まち育て
塾との連携事業）

会 期：8月1日～9月30日（49日間）

見学者数：350人

・ミニ企画展

名 称：印旛高校野球ものがたり

会 期：3月1日～4月30日（51日間）

見学者数：331人（3月末日まで）

イ 展示説明（希望団体・事前申し込み）10件

（2）市史講座等の開催

ア 市史編さん講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 市史編さん講座

講座名：木下河岸の古文書を読む～初学から輪読へ～

開催日：令和3年12月5日、12日、19日（日曜日）全3回

場所：印西市立中央公民館 学習室

講師：印西市史編さん専門委員 酒井右二氏

参加者数：のべ35名

（3）保管資料の活用 45件

資料の閲覧，掲載，貸出等。

（4）市史情報の提供

ア 地域の歴史や史料に関する問い合わせに対応 13件

イ 木下交流の杜歴史資料センターだより（1号・2号）をホームページにて公開

（5）市史刊行物の頒布 202冊

歴史資料センター，印旛歴史民俗資料館，各公民館・地域交流館，市役所で有償頒布。

無償頒布 330冊（印西市史 資料編 近現代1）

○印西市史編さん委員会設置条例

昭和59年3月19日条例第3号

改正

平成8年3月26日条例第42号

平成9年3月28日条例第15号

平成10年3月27日条例第9号

印西市史編さん委員会設置条例

(設置の目的)

第1条 本市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述し、市民の郷土に対する理解と愛郷心の高揚を図るとともに、市勢の発展に寄与することを目的として印西市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(委員会の任務)

第2条 委員会は、市史編さんに関し、印西市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、調査及び審議する。

(委員)

第3条 委員会は、20人以内の編さん委員で組織し、識見を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、委員会に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月26日条例第42号）

この条例は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年3月28日条例第15号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年3月27日条例第9号）

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

○印西市史編さん専門委員設置要綱

平成19年9月10日教育委員会告示第6号

印西市史編さん専門委員設置要綱

(設置)

第1条 印西市史（以下「市史」という。）の調査研究、執筆及び編集に当た
るため、印西市史編さん専門委員（以下「専門委員」という。）を置く。

(委員)

第2条 専門委員は、次に掲げる者とし、学識経験者及び市職員のうちから教
育委員会が委嘱又は任命する。

(1) 編集委員 15人以内

(2) 調査研究員 30人以内

2 専門委員の任期は、担当部門の市史刊行の完了時までとする。

3 教育委員会は、特別な事由があると認めるときは、専門委員の職を解くこ
とができる。

(任務)

第3条 編集委員は、担当部門の市史の調査研究、執筆及び編集に当たる。

2 調査研究員は、編集委員の指示に従い、調査研究及び執筆に当たる。

(編集会議)

第4条 市史の編集事務を円滑に行うため、編集会議（以下「会議」という。）
を置く。

2 会議は、編集委員をもって構成し、教育長が招集する。

3 会議の議長は、編集委員の互選により定める。

4 議長が必要と認めたときは、調査研究員の出席を求め、説明又は意見を聴
くことができる。

5 会議は、必要に応じて部門ごとに部会を設け、運営することができる。

(部会)

第5条 専門委員は、部門別に部会を構成するものとする。

(庶務)

第6条 専門委員の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この告示は、公示の日から施行する。

市史研究誌『印西の歴史』編集要項

平成19年5月12日作成

平成26年5月12日修正

平成27年4月15日修正

印西市史編さん委員会

1. 編集方針

- (1) 市史研究誌『印西の歴史』(以下『印西の歴史』という。)は、印西市を中心とした地域の歴史、民俗、自然等に関する研究成果を掲載し、これからの印西の文化を担う人々の発表の場として活用することを目的として発行する。
- (2) 『印西の歴史』は、印西市史編さん事業に係る調査研究、資料収集などの成果を掲載するとともに、一般市民等による(1)の目的に合致する論考、研究ノート、資料紹介など(以下「論文等」という。)を掲載する。
- (3) 『印西の歴史』の編集は、印西市史編さん委員会が行う。

2. 組織

- (1) 印西市編さん委員会は、印西の歴史編集委員会を組織する。
編集委員長 編さん委員 1名
編集委員 編さん委員及び職員 若干名
- (2) 編集委員長は編さん委員長が指名し、編集委員は編集委員長が編さん委員及び事務局職員から指名する。
- (3) 編集委員長は、編集の経過及び結果を編さん委員会に報告するものとする。

3. 仕様

- (1) 書名 印西の歴史
- (2) 編集 印西市史編さん委員会
- (3) 体裁 A5版 縦書 2段組 1段26字×22行(1ページ1144字)
本文 明朝体・9ポイント
用紙(本文) 書籍用紙・(扉絵) コート紙
(表紙) OK サンドカラー・マット PP 加工紙
無線とじ・見返し付
- (4) 頁数 100～150ページ
- (5) 発行部数 600部
- (6) 価格 500円程度
- (7) 配布計画 無償配布 市内小中学校、図書館、印旛歴史民俗資料館等、
県内教育委員会等関係機関、行政事務用、執筆者、
協力者
有償配布 購入希望者

4. 原稿の分量

印西市史編さん委員会が依頼した原稿の分量は、原則として写真・図版等を含めて400字詰め原稿用紙に換算して50枚以内（17.5ページ）とする。投稿原稿については、原則として写真・図版等を含めて400字詰め原稿用紙に換算して30枚以内（10.5ページ）とする。

5. その他

(1) 原稿料は、支払う。ただし、予算の範囲内とする。

6. 刊行計画

- 編集会議 2回 (4月・11月)
- 原稿依頼 (4～5月)、原稿〆切 (投稿原稿は10月末、依頼原稿は11月末)
- 発注 (12月)、発刊 (3月末)
- 審査 (11月)、校正 (執筆者2回、編集者3回 1～2月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
編集会議①(企画)	→												
投稿募集(広報等)		→											
原稿の依頼	→												
原稿の〆切							→	→					
印刷業者の決定・契約								→	→				
編集会議②								→					
原稿審査								→	→				
整理入稿								→	→	→			
校正作業 3回										→	→		
成果品の納入												→	
頒布 (配布)												→	→

市史研究誌『印西の歴史』原稿募集要項

印西市史編さん委員会
平成19年5月12日作成
平成26年5月12日修正
平成27年4月15日修正
平成28年4月1日修正
平成29年5月11日修正

1. 編集方針

- (1) 市史研究誌『印西の歴史』(以下『印西の歴史』という。)は、印西市を中心とした地域の歴史、民俗、自然等に関する研究成果を掲載し、これからの印西の文化を担う人々の発表の場として活用することを目的として発行する。
- (2) 『印西の歴史』は、印西市史編さん事業に係る調査研究、資料収集などの成果を掲載するとともに、一般市民等による(1)の目的に合致する論考、研究ノート、資料紹介など(以下「論文等」という。)を掲載する。投稿は、3に定める原稿投稿規定により掲載する。
- (3) 『印西の歴史』の編集は、印西市史編さん委員会が行う。

2. 編集規定

- (1) 『印西の歴史』に掲載する論文等は、印西市史編さん委員会が組織した印西の歴史編集委員会によって審査する。編集委員長は、審査に当たり外部の有識者に意見を求めることができるものとし、公平性を保つように努める。
- (2) 『印西の歴史』の投稿原稿に関しては、掲載の採否、提出期限、責任校正の回数など、投稿規定を厳守する。
- (3) 『印西の歴史』の編集に当たっては、裏付けのある論考、高い専門性、明快な論理性を保つとともに、全体的に読みやすいものとなるように留意し、専門的内容に偏らないように心がけ、市民にとって有意義なものとする。

3. 原稿投稿規定

- (1) 1の趣旨に合致し、投稿規定に沿う、学術論文、研究ノート、資料紹介などができる。
- (2) 原稿は未発表のものであり、写真、図版そのほかを転載して使用する場合や資料を掲載する場合は、投稿者がその許諾などの手続きを完了していることを条件とする。
- (3) 投稿原稿は、印西の歴史編集委員会で査読し、採否を決定する。ただし、掲載にあたっては、投稿者に原稿の修正、補筆を要請したり、文章表記の統一、調整を行う場合がある。
- (4) 原稿の分量は、原則として写真・図版等を含めて400字詰め原稿用紙に換算

- して30枚以内（10.5ページ）とする。
- (5) 原稿は、縦書1段26字×22行で2段の完成原稿で、メール・CD・USB 等いずれかの電子媒体により電子ファイル及びプリントアウトしたものを提出する。なお、使用許諾等の手続きがあった場合は、許諾書等の写しをあわせて提出する。
 - (6) 執筆者校正は、2校までとする。
 - (7) 不採用となった原稿等は返却するが、採用となった原稿等は原則として返却しない。
 - (8) 採用となった原稿は、原稿料を支払う。
 - (9) 本誌掲載の著作権は、発行者である印西市教育委員会に帰属するものとする。
 - (10) 投稿を希望する者は、5月末日までに原稿の種別、タイトル、住所、氏名、連絡先を申し出る。原稿提出期限は、10月末日とする。

提出先

印西市史編さん委員会 印西の歴史編集委員会
事務局 印西市立木下交流の杜歴史資料センター
〒270-1326 千葉県印西市木下1489番地1
電話 0476-40-3500
FAX 0476-40-3501
E-mail rekicenter@city.inzai.chiba.jp

印西市史編さん事業基本方針

平成25年3月18日

改正

平成26年5月12日

平成30年2月22日

令和 3年2月10日

1 策定の経緯及び趣旨

旧印西市（旧印西町）では、昭和59年度に町史編さん事業の着手にあわせて町史編さん室を設置し、「印西町史編さん事業基本計画」（昭和59年度策定）及び「印西市史編さん事業の事業方針について（答申）」（平成10年度答申）に基づき、所管組織の変更を伴いつつ各種事業を推進してきた。

ところが、近年、千葉ニュータウン事業の進展や旧印旛村・旧本埜村との市村合併等、行政をとりまく社会情勢も大きく変化し、新たな指針の必要性が生じている。

以上から、この基本方針は、新たな印西市史編さん事業を実施するにあたり、市史編さんの基本的な方向性を示すとともに、市史編さん事業のよりどころとするために策定するものである。

2 市史編さんの目的

市史編さんの目的は、以下のとおりとする。

- (1) 市域に関する歴史の変遷を学術的かつ系統的に記述した市史の刊行により、郷土に対する理解と関心を深め、市民のふるさと意識の醸成を図る。
- (2) 市域に関する歴史、自然及び伝統文化をあらためて掘り起こすことにより、印西市の発展と文化の向上に寄与するとともに、市民主体のまちづくりに役立てる。
- (3) 市域に関する人々の諸活動を記録した地域史料を次世代に引き継いでいくため、公文書の移管や古文書等の調査収集を行い、適正な保存に努めるとともに活用を図る。

3 市史編さんの基本方針

市史の編さんは、以下の基本方針に基づいて行うものとする。

- (1) 『印西町史』、『印旛村史』、『本埜村史』をはじめ、既往の諸研究を参考としながら、各学問分野における最新の成果を盛り込んだ市史を編さんする。
- (2) 旧市村の編さん事業との整合性を図り、これまで未完となっている時代や地域を優先して編さんする。
- (3) 学術的な検証に耐えうる高い水準を保ちながら、平易簡潔な文体で市民が読みやすい市史を編さんする。
- (4) 資料は市内外から広く収集し、必要に応じて調査を行う。
- (5) これまでの合併の経過を踏まえ、印西の地域的、歴史的、文化的な特性に配慮しな

がら編さんする。

- (6) 写真や図版を多く使用するほか、DVD等のデジタルメディアも積極的に活用を検討し、広く市民に親しまれる市史を編さんする。
- (7) 市民共通の財産として、まちづくりや生涯学習、学校教育等での活用に配慮した市史を編さんする。
- (8) 市民ボランティアの活用を図る等、市民参画の機会拡充に努める。
- (9) 地域の研究団体や個人、各種教育機関等と連携し、郷土の歴史を掘り起こすことに努めるほか、編さん理念の普及と将来の人材育成を図る。
- (10) 編さん事業で調査、収集した資料は、将来の活用に向けて適正に保存、管理し、広く市民に公開できる体制づくりに努める。

4 刊行計画

- (1) 市史は、本編、別編及び資料編から構成する。
- (2) 市史編さんの期間は、合併10周年を迎える平成32年度までを第一次計画期間とし、令和3年度から令和12年度までを第二次刊行計画期間とし、刊行計画は別表のとおりとする。
- (3) 刊行計画は、資料の調査・収集状況や事業計画の進捗状況等により、随時見直しを行う。

5 頒布方法

市史の編さんにあたっては、発行部数や体裁等を含め、市民が読みやすく購入しやすい価格設定、方法となるよう努める。

6 付帯事業

編さん事業に対する市民の理解を得るとともに、調査成果の還元や普及に努めるため、以下の付帯事業を行う。

- (1) 市史研究誌『印西の歴史』の定期的な刊行
- (2) 印西歴史ガイドブック『印西名所図会』（改訂版）の刊行
- (3) 資料目録や調査報告書類の刊行
- (4) 講演会・講座等の開催

7 編さん組織

市史編さんに伴う組織は、以下のとおりとする。

(1) 市史編さん委員会

市史編さんに関し、教育委員会の諮問に応じ、調査及び審議する。

(2) 市史編さん専門委員編集会議

市史編さん委員会を代表する者及び専門部会を代表する者で構成し、市史の内容や具体的な編集方針等、市史の編集に関する重要で専門的な事項について協議する。

(3) 市史編さん専門委員専門部会

分野別、時代別に設置し、本編、別編及び資料編に関する資料調査ならびに執筆等を行う。

8 事務局

- (1) 市史編さんに関する事務は、木下交流の杜歴史資料センターが取扱う。
- (2) 編さん事業を円滑に遂行するため、事務局の組織体制については常に適正な人員配置と施設の整備に努めるものとする。

9 その他

この基本方針に定めるもののほか、市史の編さんに必要な事項は別に定める。

別表 第一次刊行計画

内 容		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度以降
本編	通史編1 (原始・古代)	資料収集・調査・分析				→ (第二次刊行計画)				第 二 次 刊 行 計 画
	通史編2 (中世)	資料収集・調査・分析				→				
	通史編3 (近世)	資料収集・調査・分析				→				
	通史編4 (近現代)	資料収集・調査・分析				→ 編集準備		→ 原稿執筆		
別編	自然	(第二次刊行計画)								
	民俗	(第二次刊行計画)								
資料編	原始・古代	資料収集・調査・分析				→ (第二次刊行計画)				
	中世	資料収集・調査・分析				→				
	近世	資料収集・調査・分析				→				
	近現代1	資料収集・調査・分析				→ 編集準備		→ 原稿執筆		
	近現代2	資料収集・調査・分析		→ 編集準備		→ 原稿執筆		校正・刊行		
付帯事業	印西の歴史		刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	
	印西名所図会	調査・執筆	調査・執筆		校正・刊行					

別表 刊行計画

		第一次刊行計画								第二次刊行計画																	
内 容		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	令和8年度 2026	令和9年度 2027	令和10年度 2028	令和11年度 2029	令和12年度 2030	令和13年度 2031	令和14年度 2032	令和15年度 2033	令和16年度 2034				
本編	通史編1 (原始・古代)	資料収集・調査												編集準備				原稿執筆 編集		校正・刊行							
	通史編2 (中世)	資料収集・調査												編集準備		原稿執筆 編集		校正・刊行									
	通史編3 (近世)	資料収集・調査												編集準備		原稿執筆 編集		校正・刊行									
	通史編4 (近現代)	資料収集・調査				編集準備		原稿執筆		編集		校正・刊行															
別編	自然									資料収集・調査								編集準備		原稿執筆 編集		校正・刊行					
	民俗									資料収集・調査				編集準備		原稿執筆 編集		校正・刊行									
資料編	原始・古代	資料収集・調査												編集準備		原稿執筆 編集		校正・刊行									
	中世	資料収集・調査								編集準備		原稿執筆 編集		校正・刊行													
	近世	資料収集・調査								編集準備		原稿執筆 編集		校正・刊行													
	近現代1	資料収集・調査				編集準備		原稿執筆		校正・刊行																	
	近現代2	資料収集・調査		編集準備		原稿執筆		校正・刊行																			
付帯事業	印西の歴史		刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行				
	印西名所図会	調査・執筆		調査・執筆		校正・刊行																					

『通史編4近現代』工程表

年度	令和3年度						令和4年度											令和5年度																	
	R3年 5月	R3年 7月	R3年 8月	R3年 12月	R4年 2月	R4年 3月	R4年 4月	R4年 5月	R4年 6月	R4年 7月	R4年 8月	R4年 9月	R4年 10月	R4年 11月	R4年 12月	R5年 1月	R5年 2月	R5年 3月	R5年 4月	R5年 5月	R5年 6月	R5年 7月	R5年 8月	R5年 9月	R5年 10月	R5年 11月	R5年 12月	R6年 1月	R6年 2月	R6年 3月					
調査	→																																		
原稿執筆(第1 回締切)	第1章各1節・第4章第1節		→		(8月15日締切)																														
原稿執筆	→																																		
訂正原稿提出							→																												
原稿見直し							→																												
原稿戻し							→																												
再調査							→																												
原稿再提出							→																												
写真選定 (許可申請)							→																												
編集							→																												
索引・附表等作 成													→																						
入札・入稿																		→																	
校正																						初校			→		2校		→		3校・色校				
納品																													→						

- 印西市史編さん委員 閲読は初校ゲラ
- 教育委員会事務局確認 は初校
- R6年2～3月に講演会もしくはシンポジウムを開催？

印西市史 通史編について

- 1 書名 印西市史 通史編○ 部門名
- 2 発行 印西市教育委員会
- 3 編集 印西市史編さん委員会・印西市教育委員会
- 4 仕様 A4判 カラー 上製本・箱付